



令和5年3月17日(金)

校長室より(185)



こんにちは。

れいわよねんどそつぎょうしょうしょじゅよしき

令和4年度卒業証書授与式がありました。138人のはちのこが法典

東小学校を^{すだ}巣立っていきました。卒業生に送ったメッセージを^{ばっすい}抜粋します。

今年の春先は天候にも恵まれ、日に日に暖かくなり、既に桜の花が、ちらほら見られます。今日の日を、待っていたかのようにも感じます。

本日、巣立ちの日を迎えた138名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。6年間という、これまでの人生の半分にもなる長い小学校生活を終えて、今、皆さんの心には、たくさんの思い出が巡っていることでしょう。嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、悔しかったことなど、たくさんあったと思います。

6年前の入学式の日、大雨の中、おうちの方に手を引かれながら登校したことを覚えていますか。そんな天気をものともせず、これから始まる小学校生活への期待で、胸がいっぱいだったのではないのでしょうか。そこから、もう6年が経ちました。重たい荷物を背負って歩いていた頃とは比べものにならないほど、心も身体も大きく成長しました。本日の式に参列されているお母様やお父様の目には、成長した皆さんの姿が頼もしく、また美しく映っていることと思います。

みなさんは、「コロナ禍」という、世界の歴史に残る大変な出来事の中で、小学校生活の半分以上を過ごしました。みんなが3年生だったときの3月から始まった臨時休校は、4年生の5月末まで約3ヶ月間も続きました。先生になって30年を超える私ですらこれまで経験したことのなかった6月の始業式や分散登校がありました。学校が始まってからは、「手洗い マスク、ディスタンス」、そして「検温」が欠かせない、大変窮屈な毎日になりました。「まん延防止等重点措置」やら「緊急事態宣言」やら、これまで聞いたこともなかった早口言葉のようなものに翻弄される日々でした。学校生活では、なくてはならないはずの行事でさえ、次々と中止に追い込まれました。そんな状況でしたが、みなさんは、常に前を向き、楽しく学校生活を送りました。

最上級生になってもコロナ禍は続きましたが、制限はだいぶ緩和されました。5月末の運動会で見せてくれた「集団行動」は、素晴らしいものでした。今でも「スガシカオ」さんの曲を耳にすると、ベランダから見たみんなの練習風景が蘇ります。3年ぶりに行き先を日光に戻すことができた修学旅行は、私にとっても思い出の一つです。約2時間にわたり男子全員と入った露天風呂、虹の架かった華巖の滝、日光江戸村で食べたソフトクリームの味は、今でも覚えています。でも、みなさんにとって何よりも思い出は、「友達と過ごした夜」だったのではないのでしょうか。そして、つい先日、今週の月曜日と火曜日に行った理科の授業は、とっても楽しい時間になりました。どの班の気球も飛んでよかったですね。ありがとうございました。

私は、3年前に法典東小に来たので、この3年間のみんなの姿しかわかりません。でも3年間の成長は、目を見張るものがありました。特に、最上級生になってからのこの1年間は、一人一人が「頼りがいのある6年生」でした。学校のために、下級生のためにありがとうございました。

そんなみんなが、毎日元気に学校に通えたのは、後ろにいらっしゃる保護者の方々のお力添えがあったからだということは忘れないでください。そして、新たな目標をもって、4月から始まる中学校生活をスタートさせてください。

保護者の皆様、本日はおめでとうございます。お子様の人生の節目にあたり、心よりお祝い申し上げます。この6年間で立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、さぞかし感慨もひとしおのものがおありであると拝察いたします。

この6年間、本校にお寄せいただいた温かいご支援・ご協力に対しまして、心から感謝して、お礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

最後に卒業生のみなさん、ここから卒業式らしい話を少しだけします。卒業文集にも書きましたが、どんなことでもいいので「夢」をもってください。「夢」というのは、自分が叶えたいことです。

将来就きたい職業でもいいし、今、自分が目標としていることでも構いません。その「夢」が決まったら、それを紙に書いたり、言葉にしたりして、おうちの方や友達に伝えましょう。何かしらの形で表現しておく、自ずと少しずつ「夢」に近付いていくはずですよ。

がんばれ、はちのこ卒業生。

しゅう あ

さいじょうきゅうせい

週明けの20日からは、5年生が最上級生です。法典東小学校のリー

ダーとしてがんばってください。